

令和 8 年 2 月吉日

これまでにエレクトロニカ新潟に出展
いただいた企業・団体・大学
窓口ご担当者様

エレクトロニカ新潟 2026 事務局
(一社)新潟県電子機械工業会事務局)

エレクトロニカ新潟 2026 開催のお知らせ

昨年 11 月のエレクトロニカ新潟 2025 開催に際しましては、関係企業をはじめ、長岡市や県、経済団体など各方面からの大きなご支援により、ビジネス面はもとより、若い世代に地元企業をアピールする面においても、成功裡に開催することができました。

開催時に実施した『学生アンケート』結果におきましても、多くの学生から「質問したことに対して丁寧に説明してもらった。難しい技術の内容をわかりやすく答えてもらつた」など、感謝の声が多数寄せられました。

さて、今年 11 月 18 日(水)・19 日(木)のエレクトロニカ新潟 2026 は別紙「開催概要」にあるとおり規模を拡充し、これまで以上の賑わいの中で開催いたします。

拡充の内容と、賑わい創出に向けて現時点で進めている取組は以下の通りです。

【規模の拡充】

『半導体産業ゾーン』の新設

県内には、シリコンウェハーやフォトトレジスト、絶縁材料など半導体分野において世界市場で確固たる地位を占めている企業が立地しています。

それら企業が出展することにより、エレクトロニカ新潟の内容も一層充実することが見込まれることから、現在、新潟県産業労働部と共同で半導体関連メーカーに出演を働きかけています。

エレクトロニカ新潟 2026 では、半導体関連企業の展示を集約した「半導体産業ゾーン」を展示場内に新たに設置し、来場者が半導体の製造工程や機能、生活を支える様々な場面で担っている役割などを理解しやすい会場レイアウトとします。

展示だけでなく、会場内ステージにおいて半導体をテーマにした講演会も今後、計画してまいります。

⇒裏面もご覧ください。

【賑わいの創出】

その1 ビジネスチャンスの拡大（ビジネス客を増やす）

- ① 県内 16 商工会議所や主要商工会に視察を働きかけています。
⇒ 視察に使用するバスチャーター料金の一部補助など、インセンティブも提示しつつ、エレクトロニカ新潟は多数の実機展示などもあり見応えのある展示会であることを PR しています。
- ② 社会と生活を支える高度な技術を有する、幅広い業種の県内企業・事業所を個別訪問しています。
⇒ 電子機械分野に限らず、多様な業種の企業が独自の技術やノウハウを開示し商談を通じて交流することによって、地域における経済循環の活性化を図ります。
- ③ エンゲージメントを高めていく企業経営や AI をテーマにした魅力ある講演会を併催し、来場勧誘を従来以上に強化します。

その2 新たな出展社を迎える、出展社間の商談も盛り上げる

新規出展社を開拓するため、業界紙での広告掲出やイベント等での告知を強化します。

また、出展社同士の商談機会である『ビジネスマッチング』を拡充します。

具体的には、双方が合意した場合は、エレクトロニカ新潟開催 2 日間以外の商談開催を可能とします。

◇◇ 出展のお申し込みは、2月20日(金)からです ◇◇

申込は、以下の URL からお願ひいたします。

<https://e-ve.event-form.jp/event/123379/neia2026>

なお、エレクトロニカ新潟 2026 に関する情報は、(一社) 新潟県電子機械工業会ホームページ <https://www.neia.or.jp> でご覧ください。

